

2024 説明会・オープンスクール

年長・年中対象 事前予約 (WEB申込は開催2ヶ月前から)



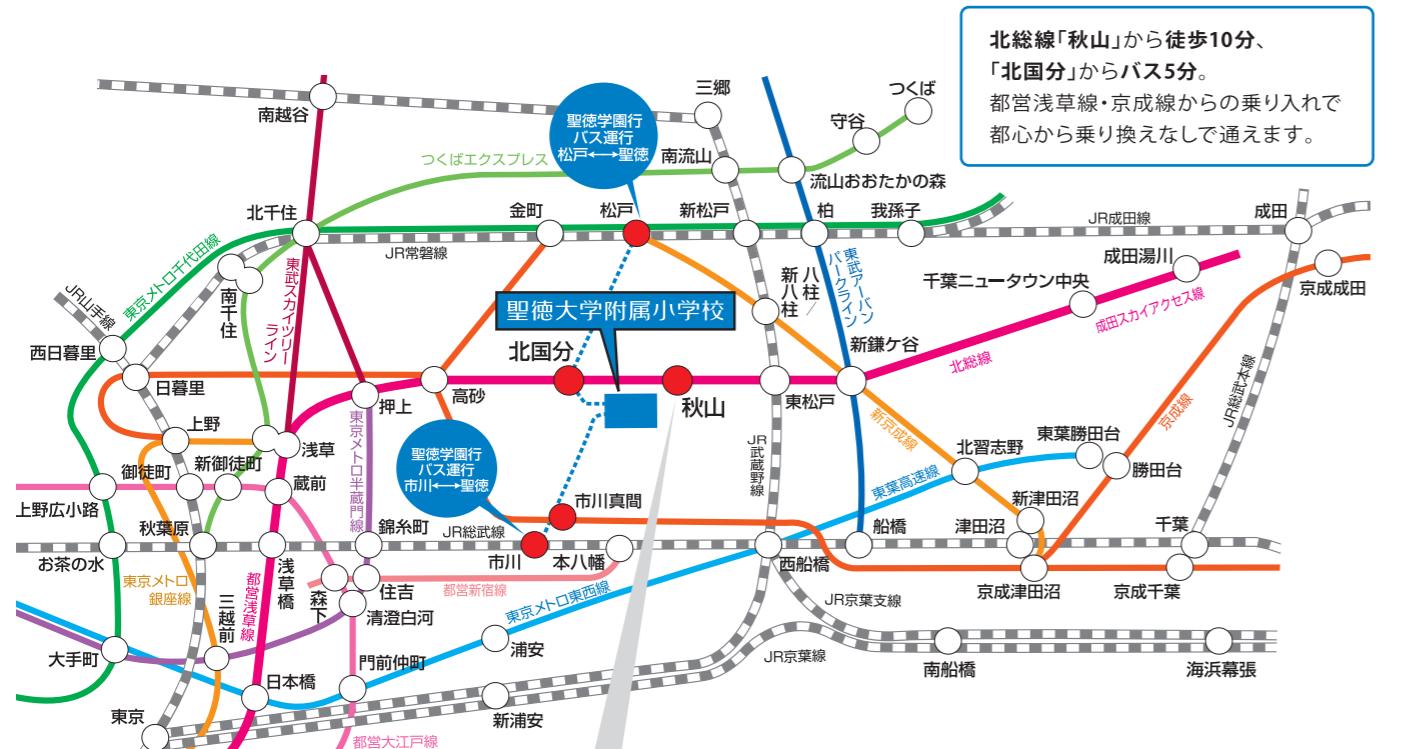
学校説明会 ① 5/20(土) ② 6/17(土) 10:00~11:30 ※①②は同じ内容です。
※お子様(年長・年中)のお預かりあります。

わくわく
オープンスクール ① 7/22(土) ② 8/19(土) 10:00~
10:20 プログラム① ※①②は同じ内容です。
10:55 プログラム② ※親子で参加できる楽しいプログラムがあります。
11:30 プログラム③ (年長親子には入試問題体験あります)
12:05 解散 ※募集要項配布あり。

入試説明会 ① 8/26(土) ② 9/9(土) ③ 10/28(土) 10:00~11:30
※①②③は同じ内容です。(③は転編生向けの説明もあります)
※年長親子対象(年中は保護者のみ)
※昨年度入試問題体験あり。(年長のみ)
※③は転編生親子も対象(1~4年)

P あり
◎事前にご予約ください。(2ヶ月前10:00~Web予約開始。それぞれ締切日あり)
◎個別の授業見学、随時受付中。お電話にてご予約ください。(電話受付時間)月曜~金曜9:00~16:00 土曜9:00~14:00
※天候・感染症等の影響により、変更する場合があります。ホームページ等でお確かめください。

試験日時	【専願／Ⅰ期】	【Ⅱ期】	【Ⅲ期】	【Ⅳ期／転編入】	
各日9:00~ 10/7(土) 11/11(土) 12/2(土) 2024年1/13(土)					※専願は、合格後に本校入学を確約できる方向けの入試です。 ※今後変更する場合があります。 詳しくはホームページ等でお確かめください。



学園直通バスがあるから便利

JR「松戸」駅、「市川」駅、京成線「市川真間」駅、北総線「北国分」駅から、登校時には学園直通のバスが出ています。また下校時にも各学年の下校時刻に合わせて、それぞれの駅へバスが運行しているので、通学が非常に便利です。



聖徳大学附属小学校

〒270-2223 千葉県松戸市秋山600 TEL.(047)392-3111代表 FAX.(047)391-4519

E-mail shogaku@wa.seitoku.ac.jp

<https://seitoku-primary.ed.jp/>
聖徳附属小 検索



23.04.2,5.DE.3b

SEITOKU

Primary School Attached to Seitoku University

生涯学び続ける

チカラを育む6年間。

2024年度 学校案内



生涯学び続けるチカラを育む6年間。

グローバル化やギガスクール構想など、教育現場は今、改革の途上にあります。
社会もまた、自然災害や感染症といった予測不能な事態に翻弄されています。
このようななか、子どもたちには今後ますます
社会の変化にしなやかに対応する能力が求められるでしょう。
人生100年時代を歩む子どもたちへ今私たちが伝えるべきは、
他者と協働して問題解決に取り組む力です。
本校では建学の理念である「和」の精神に基づき、
子どもたちがどんな時代も生き抜いていくために
生涯にわたって学びを持続できるチカラを育みます。



本校の教育の3本柱は、
「問題解決学習」「グローバル教育」「聖徳オリジナルカリキュラム」です。
これらが有機的に結びつことで「生涯学び続けるチカラ」を育みます。

CONTENTS

メッセージ	P01
6年間の成長～学年目標～	P03・P04
問題解決学習	P05・P06
質の高い基礎学力	P07・P08
グローバル教育	P09・P10
聖徳オリジナルカリキュラム	P11・P12
中学受験サポート	P13・P14
卒業生からのメッセージ	P15
校長挨拶／放課後スクール	P16
聖徳の年間行事／聖徳の子の一日	
緑に囲まれた学習環境	P17・P18

*感染症等の影響により、この学校案内の内容に変更がある場合があります。

6年間の成長～学年目標～

本校では児童の6年間の成長を、1・2・3年生の低学年と、4・5・6年生の高学年に分けてとらえています。低学年では、繰り返し練習したり覚えたりすることを通して、学習習慣・生活習慣の基盤づくりを行います。高学年では、学級での話し合いや学び合いにより、クラスメートとの交流の中で学力を伸ばします。その低学年と高学年の橋渡しをするのが、4年生で参加する2泊3日の「勉強合宿」。この合宿をきっかけに、高学年の学びへと意識を高めていきます。



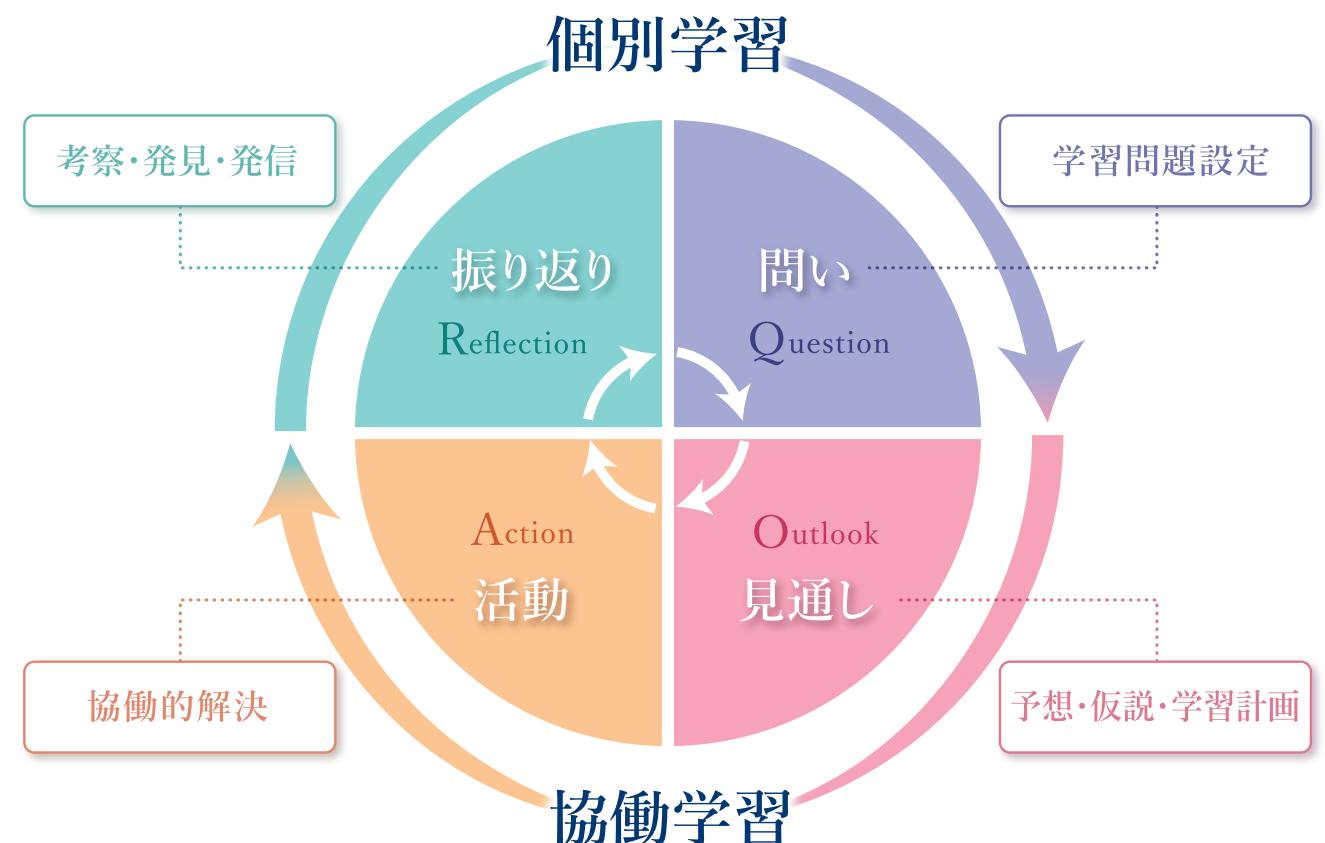
問題解決学習

「なんで?」「どうして?」。
幼い子どもが繰り返し使う言葉です。
学びとは本来、欲求であり、喜びを伴います。学ぶ楽しさを知ることは、「生涯学び続けるチカラ」を身につける近道です。
そこで本校では、「問題解決学習」型の授業を行っています。
問題解決学習とは、教師と子どもたちとの対話の中から生まれた「問い合わせ」への解決を中心に行う学習のことです。一方向的な講義ではなく、自ら問い合わせ、考え、仲間とトライアンドエラーを繰り返しながら答えを得ること。それはひとつの「答え」以上の生きた知識・経験となり、思考力をもたらし、新しい時代を生き抜く力になります。



QOARサイクル

本校の授業は問題解決力を養う「QOARサイクル」で構成しています。これは「問い合わせ」を立て、「見通し」を持ち、話し合い等の「活動」を経て答えを導き出し、「活動」に対する「振り返り」を行うというものです。思考力が鍛えられ、応用力や表現力が身につきます。



問題解決学習を実践する、ある日の授業



【5年生・社会科】

学習問題は「ガソリン車を廃止し、電気自動車等に移行することへの賛否」でした。事前に行なった調べ学習や自動車工場のオンライン見学、生活経験をもとに、「電気自動車は石油の使用を抑える」「充電スタンドが少ない」など、活発な議論が交わされました。最後の「振り返り」の時間では「電気自動車の普及で、本体価格も下がるのでは?」といった、新たな考察も生まれていました。



【6年生・算数】

テーマは四角錐です。四角錐の体積を求める公式「底面積×高さ×1/3」の「1/3」について考えました。「四角錐の体積が立方体の1/3なら、同じ四角錐3つで立方体になるのでは?」。推論から四角錐を組み合わせて見事立方体になると、児童から歓声が上がりました。学習指導要領の内容を超えた高度な内容ですが、論理的思考力を高める発展的内容として取り組んでいます。



【4年生・音楽】

問題解決学習は主要4教科に留まりません。4年生の音楽では「民謡に親もう」という授業が行われました。いくつかの民謡を聴き比べると「かりばし切り歌」にはまとまりがないとの意見が出ました。試しに手拍子を入れると曲に合わず、拍のない曲であることがわかりました。最後は「ド」「レ」「ミ」「ソ」「ラ」の5音で民謡の旋律づくりに挑戦です。民謡の魅力に触れ、頭と体と心で「音を楽しむ」姿がありました。

質の高い基礎学力

日々の授業では、進んで発言できる学級の雰囲気をつくるなど、子どもたちの主体的な学びを大切にしています。理数系科目は公立小学校と比べて1.2~1.3倍の授業時間を確保しているのも本校の特徴です。多くの実験やゲームを取り入れた授業で、算数や理科好きの児童が多く見られます。また「本物教育」の一環として、英語、音楽、書写、礼法は6年間、理科、図工は3年生以上、家庭科は5~6年生に対し、専科教諭による授業を行っています。

理科

Science



本校の敷地内には教科書に出てくる樹木をはじめ、多様な植物が植えられています。充実した環境下で行う観察や実験がもたらすのは感動です。子どもたちは目を輝かせながら、科学的に思考する力を深めています。実験・観察結果はiPadを使って、クラスで共有します。

国語

Japanese



自分の考えをしっかりと伝えるためには、言葉を適切に使えないかもしれません。そのためには、まず語彙を増やしていくことが大切です。低学年からさまざまな言葉に出会い、理解し、使うことで、「伝える力」を育みます。高学年では「討論」や「発表」を通して磨きをかけます。

算数

Mathematics



子どもたちの「なるほど!」の声を引き出すために、解答までのプロセスを大切にした授業を行っています。電子黒板や手づくり教材を使用して、算数の楽しさを伝えています。数量感覚を鍛えるため、身近なもの長さや重さ、広さなどを問う機会も設けています。

プログラミング

Programming



2020年からプログラミング教育が必修化されました。意図した動作をさせるために試行錯誤しながらプログラムを作成していくなかで、論理的思考力や、課題解決スキル、さらにはICT活用能力の育成を図っています。これからの社会を生きていく上で、必須のスキルです。

『低学年時間割例』

月 朝会	火	水	木	金	土
学級活動／朝読書					
1時間目	道徳	算数	聖徳タイム	図工	算数
2時間目	体育	英語	音楽	図工	体育
中休み					
3時間目	礼法	書写/国語	体育	英語	図書
4時間目	国語	書写/国語	算数	国語	国語
会食(かいしょく) 昼休み／そうじ					
5時間目	国語	生活	国語	算数	生活
帰りの会					
【放課後スクール】机上学習／プログラム／放課後あずかり					

『高学年時間割例』

月 朝会	火	水	木	金	土
学級活動／朝読書					
1時間目	道徳	算数	国語	社会	算数
2時間目	算数	理科	社会	礼法	英語
中休み					
3時間目	理科	社会	図工	書写/国語	音楽
4時間目	理科	英語	図工	書写/算数	理科
会食(かいしょく) 昼休み／そうじ					
5時間目	委員会/クラブ	国語	算数	体育	算数/家庭
6時間目	国語	体育	音楽	算数	国語/家庭
帰りの会					
【放課後スクール】プログラム／放課後あずかり					

英語

English



文法的に100点満点でなくとも、お互いに会話を「類推」することで意思疎通は図れます。スキルよりも大切な「誰とでも会話してみよう」というマインドを育てられるよう、外国人の先生との会話にフォーカスしながら授業を進めています。

音楽

Music



「こんな風に歌いたい」といった子どもの想いを大切に、音楽を愛する心を育てます。思考力や表現力も身につく、リズムや旋律の創作は大人気の時間です。「卒業演奏」は全員でクラシックに挑戦。共に演奏する喜びが得られます。

道徳

Moral Studies



道徳の授業で大切にしているのは、教材に登場する人物の言動や出来事にどれだけ想像力を働かせられるかということです。対話や役割演技を通じて自分や友だちの考えと出会いながら、よりよく生きるための想像力を育んでいます。

体育

Physical Education



体力の向上を図るなかで、大切にしているのは「できた」という達成感です。また、ペアやチームでの取り組みを通して、互いに「認め合い」「励まし合い」「協力し合う」ことで、心身共に健康な生活を営む態度も育てています。

社会

Social Studies



社会科は暗記科目と思われがちですが、これからの社会を担う当事者として、思考力の試される教科です。授業では、時に身近な暮らしをヒントに課題に迫り、「問い合わせ」「調べ」「考え」「表現」しながら社会への関心を深めていきます。

図画工作

Arts and Crafts



造形的なスキルの習得はもちろん、体験型のグループ学習を取り入れることでコミュニケーション能力も育てます。作品を紹介する小冊子づくりや、紹介動画作成により、「伝える力」のもととなる実践的な言語能力も育まれています。

生活科

Life Studies



自立への基礎を養い、楽しい学校生活の基盤を育む教科です。生き物や植物の観察、郵便局のお仕事体験、「豆まさき集会」などの伝統行事を自主企画・制作するなど、「心が動く体験」を通じてものを知ることを大切にしています。

家庭科

Home Economics



生活を工夫し、生きる力を養うのが家庭科です。衣食住はもちろん、家庭経営の基礎となる金銭感覚など、男女共に日常生活に必要な知識や技術を幅広く学びます。また、つくったものを誰かに喜んでもらう楽しさも経験できます。

グローバル教育

グローバル社会では、自身のアイデンティティを保ちながら、多様な価値観を持つ人たちと共に問題解決に挑む力が求められます。さらに、環境問題など世界共通の課題に目を向ける広い視野も必要です。

聖徳のグローバル教育は1年生から始まる英語の授業を中心に、日本文化の理解を深めて世界に発信する力や、持続可能な社会の実現に向けて取り組む力など、世界でリーダーシップを發揮するための総合力を育てています。



1年生から“使える英語”に親しみ 生涯学習の礎を築きます。

加速度的に進展するグローバル化への対応策のひとつとして、小学校外国語教育の重要性や期待が増しています。本校においても英語教育を重視し、独自のカリキュラムに則り、本校開校以来、1年生より週2時間の授業を行っています。子どもたちは早くから英語に触れることで、異文化・異言語を持つ人々と共に生きるための基礎を身につけます。低学年から英語を使った交流体験をすることは、使える英語の楽しさを実感し、生涯学習としての英語学習の基盤づくりにもつながります。また、英語教育集大成の一環として実施する5年生のシンガポール修学旅行の感動体験は、他校に類を見ない教育活動です。これらの聖徳英語教育は小学校の枠に留まらず、聖徳大学教授をはじめ、英語教育に長年携わってきた者も含めたプロジェクトチームが一体となって支えています。一步先のグローバル教育へ、大学附属小学校ならではの取り組みです。



聖徳大学附属小学校
英語教育プロジェクト
ワーキンググループリーダー
聖徳大学 特命教授
一ノ瀬 喜子 先生



シンガポール修学旅行

日本とは異なる自然や文化、そして本物の英語に触れるという目的のもとに、シンガポールへの修学旅行を取り入れています。地元の名門小学校の児童たちと交流を深めることで、より実践的に国際感覚を高めることができます。

※5年生の春休み



～オンライン交流会～

シンガポールの小学校とオンライン交流も行っています。事前に日本の文化について調べ、理解を深めたうえで、英語で堂々とプレゼンテーションする姿がありました。



「環境日記」から始まるSDGs

聖徳では2000年から環境教育プロジェクト「みどりの小道 環境日記」に参加し、環境をテーマに日記を書いています。そこに子どもたちが綴るのは、自分の身の回りにある環境問題です。小さな気づきは地球規模の問題を考える契機となり、SDGsにつながる多くの学びを得ています。そのほかにも、「食品ロス」をテーマとした特別授業や専門家を招いての環境教育など、持続可能な社会の実現につながる教育を行いながら、子どもたちの広い視野と可能性を育てています。

聖徳オリジナルカリキュラム

どんなに学力を身につけても、人はひとりで生きていくことはできません。
多様な考え方を持つ人たちと互いを認め合い、助け合っていくために、
建学の精神「和」に基づいて生まれたのが、聖徳のオリジナルカリキュラムです。
そこで学ぶのは、相手を思いやる気持ちやリーダーシップ、豊かな感性です。
それは「生涯学び続けるチカラ」を育むうえで、人間力の基礎となっていきます。



小笠原流礼法

日本伝統の「小笠原流礼法」を取り入れ、
人を大切に思い、自分を律する心を育んでいます。

開校以来行っている「小笠原流礼法」の授業は、人を大切に思い、自分を律する心を育むための時間として位置づけられている聖徳の伝統です。美しい姿勢に始まり、TPOに応じたお辞儀や挨拶、公共の場所におけるマナーや食事作法など、幅広く学びます。礼儀作法は習慣であり、一朝一夕に身につくものではありません。1年生から週1時間、6年間を通じてしっかりと身につけることで、生涯にわたる力になっていきます。



障子の開け閉て(あけたて)

入り口での立礼

明和班活動

上級生を敬い、下級生をお世話する
「明和班」活動でリーダーの心を養っています。

本校の教育の大きな特色のひとつに「明和班」活動があります。明和班とは、1年生から6年生までの10人程度で構成される縦割りグループのこと。毎日の昼食や運動会、校外学習、聖徳の子農園での作業など、1年を通じて行動を共にします。下級生は頼れる存在に安心感と憧れを抱き、上級生になるにつれ、自然とリーダーシップを発揮していきます。兄弟姉妹のような関係の中で、助け合いの精神や思いやりの心を学んでいます。



1~6年生まで構成される「明和班」は、同じメンバーで1年間仲良く活動していきます。

じきどう 食堂での会食

会食(給食)は全校児童がそろい、明和班ごとに上級生が配膳や下級生のお世話をします。週1回程度、管理栄養士の先生から話を聞いたり、有田焼の食器を使用するなど、食育も大切にしています。



親子音楽観賞会

国内外の一流アーティストによる演奏や演劇を、年3回親子で鑑賞します。子どもたちが「本物」と出会う時、心は動き、感受性が開花します。その感動の瞬間をぜひ、親子で共有してください。



校外学習

自然豊かな環境で行われる宿泊学習です。全校児童が参加し、上級生が下級生をサポートしながら、協力して活動に臨みます。



書写

日本の言語文化への関心を深め、豊かな心を育む特別授業として、全学年を対象に毛筆による書写授業を行っています。隔週2時間、正しい筆の使い方を学びながら「書」という美をたしなみます。



伝統行事

「和」の心を育む教育活動として、日本の四季を意識した伝統行事を重視しています。こいのぼりやひなまつり、もちつきなどには、日本人の織細な感性や感謝の心が宿っています。こうした日本の伝統的な文化を理解・体感することもまた、成長期における子どもたちの心の土台を養っています。



5月/こいのぼり集会



7月/七夕まつり



1月/もちつき

※感染症等の影響で、活動内容等が異なる場合があります。

中学受験サポート



中学受験とその先を見据えた
生き抜く力を養います。



進路指導部 主任
稻葉 幸一 先生

4年

4月	6月	9月	1月
◆保護者会 内部進学説明会 光英VERITAS中学校	◆個人面談 ◆実力テスト [A(教科書水準以上)テスト(国・算)]	◆勉強合宿【ホテル日航成田】	

国語科・算数科コース別授業
(3学期から)

5年

4月	5月	6月	9月	1月
◆保護者会 内部進学説明会 光英VERITAS中学校	◆実力テスト① [B(中学受験対応)テスト(国・算・理・社)]	◆個人面談 ◆実力テスト② [B(中学受験対応)テスト(国・算・理・社)]	◆個人面談 ◆実力テスト③ [B(中学受験対応)テスト(国・算・理・社)]	◆保護者会 ※志望校の合否判定あり

国語科・算数科
コース別授業

6年

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月
◆実力テスト① [B(中学受験対応)テスト(国・算・理・社)]	◆個人面談①(進路相談) 内部進学説明会 光英VERITAS中学校	◆実力テスト② [B(中学受験対応)テスト(国・算・理・社)]	◆学力調査(内部進学)① ※志望校の合否判定あり	◆実力テスト③ [B(中学受験対応)テスト(国・算・理・社)]	◆個人面談②(進路相談) ※志望校の合否判定あり	◆個人面談③(進路相談) ※希望者 優先入学制度あり 光英VERITAS中学校内部入試

国語科・算数科コース別授業
(2学期まで)

実力テスト

4年生は年1回、5・6年生では年3回実施されます。5年生の3回目と6年生のすべての回は、志望校判定が行われます。

個人面談

1～5年生は年1回、6年生は年2回行われます。5・6年生は実力テストの結果をもとに進路指導を行います。受験校に関する保護者の相談に応えます。
※6年生希望者には3回目の個人面談あり

保護者会

6年生の保護者会では、前年度首都圏の中学校入試結果から見えてくる傾向をお伝えします。

コース別授業 (4年生～6年生)

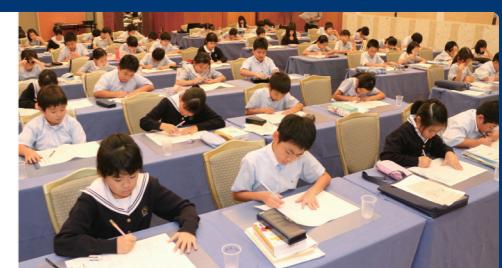
「国語科コース別授業」「算数科コース別授業」という特別コースを設け、丁寧な指導を行っています。各科コース別授業はいずれも4コースに分かれ、児童は自分のレベルに合わせたコース選択が可能。カリキュラムは、段階的に無理なくステップアップできる内容となっています。講師には、本校の教員に加え、進学塾との連携による外部講師も採用。普段の授業とは異なるスタイルで児童の意欲を高めながら、よりハイレベルに科目の習熟を図っていきます。(4年生は3学期から。6年生は2学期まで)



勉強合宿

*感染症対策のため、日程や内容等を変更する場合があります。

自学自習の姿勢を身につけて、これから学ぶための勉強合宿を行います。事前指導には進学塾の先生も加わります。学習への取り組み方についての講話を聞き、限られた時間に集中して勉強する意識を高めた後、各自の学習に取り組みます。



【男子児童】 男子児童の多くは、外部の中学校へ進学します。
一人ひとりの個性に合わせた進路相談を重ねながら、より高いレベルの進学を目指します。

合格実績

(過去5年/2019～2023年)

開成中学校
麻布中学校
慶應義塾中等部
早稲田中学校
海城中学校
本郷中学校

立教池袋中学校
巣鴨中学校
法政大学中学校
暁星中学校
芝浦工業大学附属中学校
慶應義塾普通部

合格中学校

渋谷教育学園幕張中学校
市川中学校
東邦大学付属東邦中学校
昭和学院秀英中学校
芝浦工業大学柏中学校
専修大学松戸中学校

栄東中学校
立教新座中学校
江戸川学園取手中学校
茗溪学園中学校
筑波大学附属中学校
光英VERITAS中学校

※ほか

【女子児童】 女子児童の約3割が系列の光英VERITAS中学校へ進学しています。
男子児童同様に年々高まる、より高いレベルの外部進学へのサポートも行っています。

合格中学校

桜蔭中学校
女子学院中学校
慶應義塾中等部
豊島岡女子学園中学校
白百合学園中学校
吉祥女子中学校

頌栄女子学院中学校
学習院女子中等科
香蘭女学校中等科
成城学園中学校
共立女子中学校
千代田区立九段中等教育学校

渋谷教育学園幕張中学校
市川中学校
東邦大学付属東邦中学校
昭和学院秀英中学校
芝浦工業大学柏中学校
専修大学松戸中学校

浦和明の星女子中学校
栄東中学校
江戸川学園取手中学校
千葉県立千葉中学校
千葉県立東葛飾中学校
光英VERITAS中学校

※2021年4月より「聖徳大学附属女子中学校」から校名を変更し、共学進学校となりました。

卒業生からのメッセージ

一生の記憶に残る授業がたくさんありました。

今でも思い出すエピソードがあります。それは、礼法の授業での出来事ですが、「ペーパータオルを畳むようにして、ごみ箱に捨てる方法がある」と先生が教えてくれました。児童が「なぜ?」と質問すると、先生は、「掃除をする方や次の利用者の迷惑にならないように」と答えました。その瞬間、教室が静まり返ったのを覚えています。顔の見えない他者に思いを寄せる大切さを学びました。

日本大学 法学部
准教授(教育社会学)



香川 七海さん

小学校の授業で興味を持った英語が私に夢をくれました。

当時では珍しかった小学校での英語の授業は、私の楽しみのひとつでした。本校での経験をもとに国際的な中学校に進学。高校では2年間カナダ留学することもできました。今の夢は英語教育に携わること。聖徳での授業が私に英語への興味を引き出してくれました。「漢検」や芸術鑑賞など、様々な経験ができる聖徳は、英語に限らず、それぞれの一生モノの好きなこと、得意なことを見つける場所だと思います。

東京外国语大学
言語文化学部 英語専攻



鳥海 涼香さん

友達と一緒にいたからこそ受験勉強を頑張ることができました。

卒業生の合格実績が僕の聖徳を志望する動機のひとつであったように、聖徳ではほとんどの人が中学受験を視野に入ります。そのため最初から友達同士で切磋琢磨できる環境があり、特に4年生での勉強合宿を経て、学年全体で中学受験に向かう環境が一気に整います。難しい問題に楽しみながらチャレンジできる「コース別授業」と共に、中学受験を最後まで諦めず走り続ける原動力になりました。

開成中学校

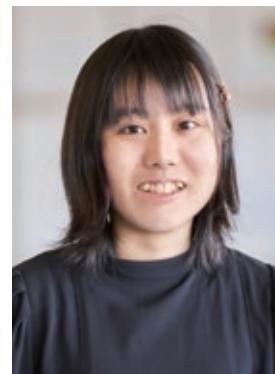


川上 恵央さん

「導く力」を養ったのは明和班活動でした。

聖徳の魅力のひとつが、縦割りの明和班活動です。会食や校外学習など、班ごとに活動する機会が多く、1年を通して絆を深めます。上級生になると、かつて自分がもらつたように下級生のことを優しく見守り、導く力も自然と身についていきます。そのほか、授業ではたくさんの楽器に触れる事のできる音楽が大好きでした。親子音楽鑑賞会で見たオーケストラの演奏や歌にはとても感動し、今でも心に残っています。

東京工業大学 工学院
(聖徳大学附属女子中学校・高等学校卒業)



小川 実優さん

幼いうちから身につけた礼法は就職活動にも活きました。

私は大学4年で司法試験に合格し、現在裁判官として働いています。聖徳を卒業した後、就職活動や目上の方との食事など様々な場面でテーブルマナーや人の話に耳を傾ける姿勢などの聖徳で学んだことが活きました。礼法や明和班での活動は、人と関わり合いながら生きていく上の土台となっています。また、教育のレベルも高く、特にコース別授業では中学受験を見据えた学習をすることができました。

慶應義塾大学 法学部卒業
(聖徳大学附属幼稚園卒園)



森谷 謙太さん

生きしていくうえで大切な学びがここにあります。

聖徳にはたくさんの思い出があります。聖徳祭で毎日練習に励み、作り上げた達成感。理科では先生が丁寧に評価してくださるノートを見るのが楽しみで、向上心が高まっていたこと。明和会(児童会)役員の会長を務め、先生や友達の応援を背に重責を果たした2年間。そしてもちろん、一朝一夕に身につくことのない礼節を6年間通じて学んだ日々。どれもが生きていくうえで大切な、私の財産です。

白百合学園高等学校



加藤 嘉音さん

保護者の皆様へ

お子さまの6年間を大切に一生ものの知性と感性を育みます。

今年の春も、6年間で大きく成長した子どもたちが、自ら掴み取った道へ羽ばたいていきました。近年は難関校への進学率が上がり、各方面よりご注目いただいている。他方で、本校の児童が持つ「進学実績」だけでは測ることのできない魅力を改めて感じる日々です。ある集団討議での話です。司会進行役を名乗り出た児童がいました。相手を論破する術も意見も持っています。けれどその児童は、周囲の意見を汲み取り、集団としての答えを導く選択をしました。相手を敬いリーダーシップを発揮する姿に、「頼もしい」の一言でした。新型コロナウイルスは私たちの日常を揺るがしました。しかし同時に、マイナスをプラスに転じる契機でもあったように思います。本校では突然の一斉休校の際、配信授業のほかに、各ご家庭と教員とが電話やオンライン上で毎日つながっていましたこと、強固な信頼関係が結ばれました。また、生き抜く力を備える大切さに気づくきっかけにもなったのです。今年本校は「生涯学び続けるチカラを育む6年間。」という言葉を掲げました。従前からの教え方ではありますが、変化に富んだ時代を受け、改めて明文化したものです。本校にお越しの際は、子どもたちの姿にもぜひご注目ください。礼法や明和班活動などを通じて礼儀正しい挨拶ができる「聖徳っ子」は、私たちの誇りです。人間形成に大切な6年間、頭も心も育む学舎として、どうぞ安心してお任せください。



聖徳大学教育学部教育学科 教授
聖徳大学附属小学校 校長

三須 吉隆

+1^{新規} プラスワン教育



プログラミング

放課後スクール

希望者には放課後スクールを開催。

児童をお迎えまで(月~金、最長19時まで)お預かりいたします。

保護者の要望から始まった放課後スクール。それは、机上学習(1・2年生)と、業務委託の「聖徳アフタースクール」からなります。子ども向け体験学習に定評のある(株)プラスワン教育が運営する「聖徳アフタースクール」は、プログラムと「放課後あずかり」で構成。プログラムには、かけっこ、バスケットボール、ゴルフ、英語、プログラミングなどがあり、児童は楽しいひと時を過ごしています。

※長期休業中にも「聖徳アフタースクール」(8:00~17:00)があります。

スケジュール

	~14:55	15:10~16:00	16:10~17:00	17:10~18:10	18:10~19:00
内容	机上学習 (1・2年)	プログラム①	プログラム②	放課後あずかり① ・ライトミール ・宿題 ・読書 ・室内遊び	放課後あずかり② ・宿題 ・読書 ・室内遊び
	平常授業 (3~6年)				

※机上学習は、自主学習の支援等をする時間帯です。※時刻・内容等、今後変更する場合があります。



かけっこ



プログラミング

コース選択表

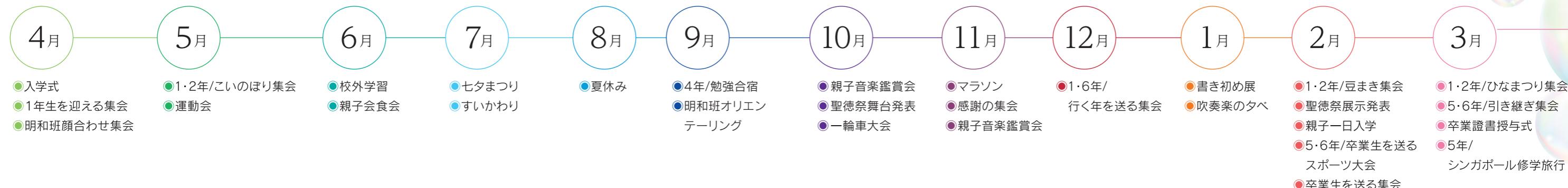
曜日	プログラム①	プログラム②	放課後あずかり①	放課後あずかり②
月	かけっこ教室	運動教室	放課後あずかり①	放課後あずかり②
火	バスケットボール教室①	バスケットボール教室②		
水	ゴルフ教室	英語教室		
木	アクティブラーニング①	アクティブラーニング②		
金	プログラミング教室①	プログラミング教室②		



* 感染症等の影響により、日程や内容等を変更する場合があります。

聖徳の年間行事

たくさんの行事を通じて、みんなと協調し、やり遂げる大切さを学んでいきます。



聖徳の子の一日 (1年生の場合)

授業や会食、休み時間など、子どもたちは毎日を楽しく笑顔で生活しています。



緑に囲まれた学習環境



教室

横のつながりをつくりやすく教師の目をクラスの外にも行き届きやすくするために、子どもたちが学ぶ普通教室は壁で仕切らず、ワークスペースでつながっています。



食堂

ここで毎日、学年枠を超えて活動する「明和班」ごとにテーブルを囲んで会食をとります。礼法で学ぶマナーを、会食で実践しています。
※感染症対策として、教室で会食をいただくことがあります。



礼法室

引き締まった気持ちで授業に臨めるよう、玄関から床の間、障子、土壁にいたるまで正式な日本建築でつくられています。



聖徳の子農園(隣接地)

勤労を体感する教育の一環として、専用農園にて明和班で作物を育てています。みんなで力を合わせて協働し、協調性を養います。



年間を通して、聖徳大学の施設も利用しています。

